

第1回

ウイルスは、
なにサイズ？～ものの大きさを学ぼう

2021年 1月17日(日) 14:00～15:30
(開場 13:45)

★講師：秋本 祐希 氏 (イラストレーター / 科学コミュニケーター)

★対談者：高梨 直紘 氏 (東京大学 特任准教授 / ちばサイエンスの会)

この世界にはさまざまなサイズのモノがあります。ウイルスのように人間よりもずっと小さなものもあれば、人間よりもずっと大きなものもあります。講座では、この世界で一番小さいモノである「素粒子」から一番大きい宇宙まで、いろいろなモノのサイズを学びます。また、学んだことをまとめた絵本も作ります。



内容：①いろいろなモノの大きさのお話
②絵本づくり

会場：10階 探究実験室

対象：小中学生とその保護者

定員：先着10組20名

料金：常設展示入館料

申込：電話 043-308-0511 (代表: 9:00～17:00)

残席分は当日会場にて開始15分前より受付



[講師プロフィール] 秋本 祐希 (あきもと ゆき)

博士(理学)。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。専門は素粒子実験。その後、デザイン関係の仕事をする傍らに素粒子を好きになってもらうためにイラストやマンガを使って素粒子を可愛く解説する「Higgstan (ひっぐずたん)」を運営。

今回の工作

小さなものから大きなものまで、10種類の素材を選んで絵を書いて、10ページの絵本を作ります。

「科学と未来の学校」って何？

毎年、ひとつのテーマを設け、さまざまな分野の研究者や技術者、アーティストなどを招いて対談形式で実施するイベント(3回/年)です。お話を聞くだけでなく、実験や工作など、お話の内容に関連するアクティビティも体験できます。今年のテーマは「これからの科学との付き合い方」です。



〒260-0013 千葉市中央区中央4-5-1 Qiball (7-10階) TEL:043-308-0511(代表)

開館時間=9:00~19:00(新型コロナウイルス対策のため、開館時間が短縮される場合があります)

<https://www.kagakukanQ.com> @chiba_kagakuQ @ChibaCityMuseumofScience

ご来館時の
お願い

- 検温を実施しています。発熱のある方は、入館いただけません。
- 必ずマスクの着用をお願いします。マスクをお持ちでない場合は、入館をご遠慮いただきます。
- 館内では、手洗い、手指の消毒をお願いします。
- 館内ではお食事ができません。所定の場所で、飲物のみお取りいただけます。
- 一部の展示物は休止中です。詳しくは千葉市科学館HPをご確認ください。